HPVワクチン Q&A

Q. ワクチン接種後に様々な症状を訴えた人がいたので心配です。

A. 日本や世界中で様々な調査研究が行われていますが、HPVワクチンに特異的な症状ではないので安心して接種してください。
また、このような症状は、ワクチン未接種の人にも一定程度みられることがわかってきています。名古屋市での大規模な調査でも、接種した女子と接種しなかった女子で有意な差がありませんでした。

HPVワクチンの安全性名古屋スタディ

1994年度～2000年度生まれ女性約3万人のデータ
24項目の症状に関して

ワクチン接種者と非接種者とで比較 ➡ 有意差なし

1 月経不順	7 集中できない	13 なかなか眠れない	19 簡単な漢字が思い出せない
2 月経量の異常	8 視野の異常	14 異常に長く寝てしまう	20 身体が自分の意志に反して動く
3 関節や体が痛む	9 光を眩しく感じる	15 皮膚が荒れてきた	21 普通に歩けなくなった
4 ひどい頭痛	10 視力が急に低下	16 過呼吸	22 杖や車椅子が必要になった
5 身体がだるい	11 めまいがする	17 物覚えが悪くなった	23 突然力が抜ける
6 すぐ疲れる	12 足が冷たい	18 簡単な計算が出来なくなった	24 手や足に力が入らない

Suzuki S, et al.: Papillomavirus Res 2018; 5: 96-103より引用改変

Q. 接種後30分安静にするのはどうして？

A. 接種直後に、痛みや緊張などで失神や立ちくらみなどが起こることがあります。そのため接種後30分ほどは、座って様子をみてください。

Q. ワクチン接種後にどのような症状が出たら受診すべきなの？

A. HPVワクチンに限らず、針を刺したことや、不安によるストレスが原因で症状が出ることがあります。接種したところ以外の身体の痛み、倦怠感、手足のしびれ、ふるえなど、気になる症状や体の変化がある場合は、接種した医療機関を受診してください。状況に応じて専門機関や協力医療機関と連携して対応します。

発行 2024年3月
神奈川県産科婦人科医会

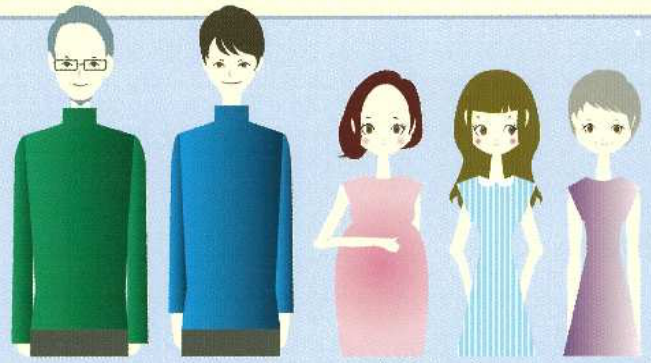
監修 宮城悦子（横浜市立大学医学部産婦人科学教室）
佐治晴哉（神奈川県立がんセンター婦人科）

HPVは子宮頸がんの他にも多くの男女のがんの原因となるウイルスです。YOKOHAMA HPV PROJECTではHPV関連疾患の予防に関する最新情報を発信しています。

Copyright © 2017 E. Miyagi, YCU All Rights Reserved.

HPV※ワクチンと検診で子宮頸がんを予防しましょう！

（※ヒトパピローマウイルス）



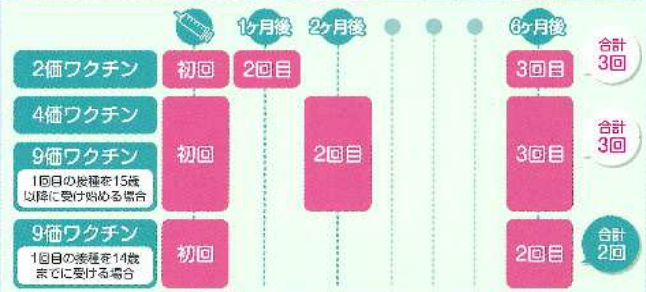
Copyright © 2017 E. Miyagi, YCU All Rights Reserved.

私たち産婦人科医師はHPVワクチン接種をおすすめします！

定期接種について

小学校6年生から高校1年生相当の女子は無料で接種できます。

HPVワクチン　標準的な接種スケジュール



9価ワクチン：15歳の誕生日が来る前に1回目の接種を行った方は、2回で接種が完了

接種の間隔を短くしたいという希望の方はご相談ください。

ワクチンとHPV型



「日本産婦人科医会「思春期婦人科相談マニュアル」」より引用改変

子宮頸がんとHPVワクチンについての詳しい情報は、厚生労働省のホームページでご確認ください。

ヒトパピローマウイルス感染症～子宮頸がん（子宮けいがん）とHPVワクチン～

私たち産婦人科医師は、検診だけでなくワクチンとの併用で この様な子宮頸がんの患者さんを一人でも減らしたいと思っています。

HPVは主に性的接触によって感染するため、初めての性交前にワクチンを接種することが、子宮頸がん予防に最も効果があります。

がん検診で子宮頸がんが見つかった時、Aさんは32歳。1歳と3歳の女の子のママでした。妊娠中に受けたがん検診は異常がなかったのでショックでした。すでに手術ができない状態で、抗がん剤や放射線治療のため入退院を繰り返しました。一時は回復したものの、転移が見つかり2年後に娘たちを残して他界されました。

子育て世代の女性を襲う子宮頸がんはマザーキラーと呼ばれています。

24歳のBさんは、待望の第一子を妊娠。喜びもつかの間、妊娠初期の検診で子宮頸がんが見つかりました。Bさんの命を救うためには、できるだけ早い手術が必要でした。子宮は16週の胎児とともに摘出されました。

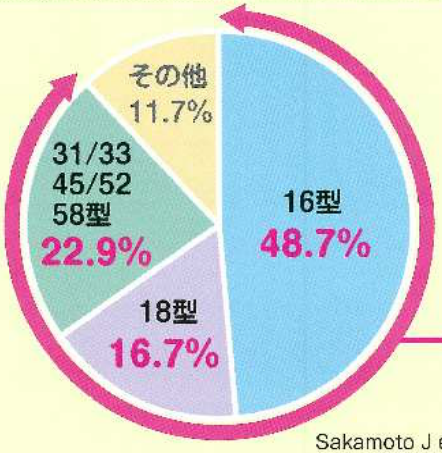
30代までにがんの治療で子宮を失ってしまう女性が日本では年間1,000人います。

Cさんは28歳の時に高度前がん病変と診断されました。定期的な通院検査中、30歳で初期のがんに進展し、円錐切除術（子宮の入り口の一部を切除）を受けました。32歳で妊娠。早産徴候がみられたため約2か月間入院し、予定より2か月早い32週での出産となりました。

円錐切除術を受ける人は、日本では年間1万4千人。子宮は残せますが、術後に妊娠した方の8～15%程度が早産となると言われています。

日本の子宮頸がんの患者さんから検出されたHPV型

（浸潤がんでの割合）



9価HPVワクチンの日本人における推定子宮頸がん予防効果

88.3%

Sakamoto J et al. Papillomavirus Res. 2018; 6: 46-51. より作図

HPVワクチンは痛いって聞いたので心配です



ワクチンでがんを予防できるってホント？



※9価HPVワクチンで約9割の子宮頸がんを予防できます。

漫画：アベナオミ

HPVワクチンの効果はどのくらい続くの？

2006年に世界で接種が始まり、少なくとも14年、予防に必要な抗体価が維持されることがわかっています。理論的には20～30年以上有効と推計されています。